

第4回会議録案

日時 平成22年3月17日(水) 10:40 - 12:00

場所 福井キャンパス図書館棟会議室、小浜キャンパス TV 会議室

出席 交野、新宮、飛田、木元、黒川、大竹、本田、塚本、大武、事務局(秦、田中、川田、吉田)

欠席 菊沢、山川、事務局(大野)

議事の概要

1. 2009年度FD事業について

(1) 授業評価について

資料に基づいて事務局より実施状況と全体の結果について報告された。

委員より下記の意見が出され、次年度の検討事項とした。

- ・授業評価に対する教官のコメントの公表についてウェブサイトだけではなく、より学生に見てもらえる方法で公表すべきではないか。
- ・ウェブサイトへのコメント投稿を促進する努力がもっと必要である。
- ・シラバスに授業評価に対する教官の対応状況を書く欄を設けてはどうか。
- ・翌年度のシラバス作成に反映できるよう、後期の授業評価の時期あるいは評価結果の返却時期を変更できないか。

(2) 授業公開について

各部局より実施状況、反省点、今後の方針等について報告された。

経済学部

公開件数、参観者数ともに少なく偏っている。参観者数は少ないが参観した教官からは授業公開が非常に役に立ったとの意見が出ている。チーム員からの依頼による持ちまわり、原則公開等の方策を講じる必要性がある。情報交換的授業公開については今年度はコーディネートできなかったのも、次年度に実施の方向で検討したい。

生物資源学部

原則公開としたが、本年度は授業公開は実施しなかった。本年度はJABEE関連で、生物資源学部にある4つの研究領域に属する授業の関係を明確にするフローチャートを完成させることができた。

海洋生物資源学部

チーム員からの依頼により、前後期各1件の授業公開を実施した。参観者は多いが、いつも同じメンバーである。新たな参観メンバーの獲得が今後の課題である。

看護福祉学部

看護学科

チーム員からの依頼により、前後期各2件の授業公開を実施したが、後期の1件は参観者ゼロであった。今後の方針は検討中であるが、依然としてチーム員による強い後押しが必要である。

社会福祉学科

前期に随時公開1件、後期に随時公開と期日を指定した公開を各1件実施したが、参観者ゼロであった。実習等で学外に出ている教官が多くて参観者の確保が難しい状況である。授業公開者数の増加およびチーム員によるリーダーシップの強化が必要である。

学術教養センター

原則、全科目随時公開とし、前期6件および後期1件の授業公開が実施された。参観者が限られている点については、今後の検討課題である。授業公開を実施した教官からは公開が役に立ったという報告がされている。

これらの報告を受けて各委員より授業公開について以下の意見が出され、次年度の検討課題とした。

- ・授業公開を毎年継続するのではなく年限を決めて実施し、その結果を検討することも必要ではないか。
- ・授業を公開して、あるいは授業を参観して、授業改善にどのように生かしたかを公表する場をチームが提供してはどうか。

(3) 学内外研修について

資料に基づいて、交野チーム長より説明された。

(4) 決算報告について

資料に基づいて、事務局より報告された。2009年度FD報告書の印刷は2010年度予算での発注になることが報告された。

(5) 「ファカルティディベロプメント報告書2009」の作成について

昨年度と同様の書式と分担で作成することとした。各分担の原稿提出期限を2010年4月15日とし、4月30日頃の完成を目標とすることとした。

2. 学習支援ツールの今後の使用について

第3回会議で議論された学習支援ツールの切り替えの可能性（BbLSからフレックスMoodleへの切り替えの可能性）について各部局の意見を聴取した結果、「Moodleへ切り替える旨は理解し、それに応じるが、Moodleを使い始める際に公式な連絡が欲しかった」、とのコメントが生物資源学部から出された。これらのコメントに関連して、Moodleはフレックスで導入したもので、学内の会議を経て決定されたわけではない旨、また、学内の学習支援ツールとして正式に利用を開始しているのではない旨が再確認された。

以上